

# まちかど アルバム



## 流しびな作りに大忙し

### 用瀬町

江戸時代から続く用瀬町の民俗行事「流しびな」。4月8日（火）の開催を前に、地元ではひな作りに大忙しです。紙粘土とようじで頭を作り、折り紙の着物を着せ、ワラを編んで作った棧俵さんだわらに乗せると完成。ひなの製作グループ常磐会とぎわのみなさんも、心を込めて作業していました。

## 幼稚園でマジックショー

### 福部幼稚園

福部幼稚園で3月6日（木）、マジックショーが行われました。マジシャンは、鳥取市こども科学館で手品を教えている影井潔巳かげいきよみさん。卒園を間近に控え、いろいろな事に取り組み大きく成長した子どもたちに、ご褒美のマジックを披露。スカーフの色が塗り絵に移ったり、空中から突然時計が現れたりする不思議なマジックに、子どもたちは大喜びでした。



## 一足早く小学生気分

### 西郷小学校

2月19日（火）、河原地域の3つの小学校で、この春入学予定の子どもたちの1日体験入学が行われました。このうち、園児9人が訪れた西郷小学校では、1・2年生が劇や合奏を披露。体育館では“手つなぎ鬼”などで楽しみました。初めはモジモジしていた子どもたちでしたが、最後にお兄さん、お姉さんから手づくりのペンダントを贈られた頃には、すっかり新1年生の顔になっていました。



## 息の合ったプレーを披露

### 国際交流プラザ

3月8日（土）、「国際交流卓球大会」が湖山町西1丁目の国際交流プラザで開催され、市内在住の外国人留学生や市民が汗を流しました。試合は混合ダブルスのトーナメント方式で、中には初対面だったり、言葉が通じないペアもありましたが、激しいラリーやスマッシュの応酬も行われるなど、熱戦が繰り広げられました。





## PR スタッフとイメージソング決まる

2009 鳥取・因幡の祭典

2月29日(金)、来春開幕する「2009 鳥取・因幡の祭典」をアピールするスタッフ「いなばPRフェアリー(妖精)」が決まりました。選ばれたのは小島沙耶香さん、田邊美和子さん、西尾依里子さん、下田愛さん、山内恵子さんの5人で、県内外のイベントに参加し、祭典をPRします。また、イメージソング3曲も選ばれ、祭典を盛り上げます。

## 野菜や果物が電池に変身

こども科学館

化学の面白さを知ってもらおうと、「わくわく実験教室」が3月8日(土)、吉方温泉3丁目のこども科学館で開かれました。参加した小学生は、乾電池を分解したり、暗闇の中で光るバッジを作ったりしました。銅と亜鉛の電極を野菜や果物に差して電子オルゴールを鳴らす実験では、つないだ大根やレモンの数が多いと、音が大きくなることを確かめました。



## 今年も巻いたよ!長~い巻きずし

気高町中央公民館

3月8日(土)、「気高っ子祭り」が開催され、会場の気高町中央公民館は多くの子どもたちでにぎわいました。祭りの最大のイベントは、長さ15mの巻きずしづくり。子どもたちはビニールの手袋をはめた手の平に酢飯を乗せてもらい、ゆっくりと海苔の上に広げていきました。そして、キュウリなどの具を置き、「せーの」の掛け声で一気に巻くと、1本の長~い巻きずしが出来上がりました。



## 不法投棄をなくそう!

市内各地



3月13日(木)、市民運動推進協議会の環境美化点検パトロールが行われ、特に不法投棄の多い場所を見回りました。会長の森西辰良さんは、「不法投棄は以前より減ってきているが、まだまだ多い。今日の点検結果を地元自治会に知らせるなどして、美化活動の推進を図りたい」と話していました。

## 子どもたちと芸術家が和紙で交流

青谷小学校



青谷小学校で2月22日(金)、6年生とスペインの美術学校の学生・教授が、青谷産の因州和紙を使ってコサージュ作りを行いました。学生らは、あおや郷土館で開かれた因州和紙のリトグラフ(石版画)などの展覧会に、出品作家

として来日していたもので、この日は、子どもたちに作り方を教わりながら、慣れない手つきで染紙をちぎったり、針金に張り付けたりして、コサージュを完成させました。